

ガ－ナ国第三国研修 「保健制度改革」事前調査報告書

平成12年6月

JICA LIBRARY



J1158400(0)

国際協力事業団

JICA
512
98
R4A
BRARY

地四ア
J R
00-16

序文

第三国集団研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤を持つ、同一地域内の開発途上国を対象として、本邦に招聘し実施する本邦集団研修では移転が困難を伴う場合や研修を実施するにあたって特定の開発途上国を開催実施国とすることがより効率的であると判断される場合、当該地域内の周辺途上国からの研修員を受け入れて、より現地事情に適合した技術及び知識の移転、普及を図り、これにより地域内協力関係の強化と開催実施国の研修事業実施能力の強化の支援を目的として実施される事業です。特にこの事業の特色は、途上国自身のイニシアチブにより、当該途上国の研修実施機関が我が国の資金並びに技術的な支援を得て実施するもので、昭和49年（1974年）にタイのコンラート養蚕訓練センターで開始されて以来、実施件数は増え、平成11年度には129件実施されました。

国際協力事業団(JICA)は、平成11年3月、世界銀行の世界銀行研究所(WBI)とアジア地域とアフリカ地域において、共同で現地研修を実施することに合意しました。アフリカにおいてはガーナにて、アフリカ諸国に於ける保健医療財政と地域保健医療財源に対する保健医療政策のあり方をテーマとした「保健医療制度改革」セミナーを第三国研修を通し実施することとし、事前調査団をワシントンおよびガーナに派遣し、共同開催者であるガーナ保健省並びにWBI担当者と現地協議を実施しました。

本報告書は、上記の調査団が本件第三国研修の実施にかかる協議内容及び調査結果等の概要をとりまとめたものです。

本調査団の派遣に際してご協力をいただいた、東北大学と琉球大学並びに現地においてご指導とご協力をいただいた、在ガーナ日本国大使館及び関係機関の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

平成12年 6月

国際協力事業団
理事 大津幸男



1158400 {0}

目 次

要約	1
1 調査の概要	3
1-1 目的	3
1-2 調査の背景	3
2 調査概要	3
2-1 第1次事前調査	3
2-2 テレビ会議	7
2-3 第2次事前調査	9
2-4 実施までの準備事項	18
3 実施上の留意事項	19
資料	
1 協議議事録 (Minutes of meeting)	35
2 第1次事前調査 (調査団構成、調査日程、面談者)	55
3 第2次事前調査 (調査団構成、調査日程、面談者)	56
4 調査団収集資料リスト	59

要約

JICA、世界銀行研究所(WBI)とガーナ政府との連携により、アフリカ諸国の保健医療に携わる政府関係者を対象とした保健医療制度改革にかかるセミナーをガーナにおいて実施することと、及び同セミナー実施のための準備と役割分担のあり方について協議するため、調査団をガーナに派遣した。調査団はガーナ保健省(人材養成局)とWBIとの協調により、平成12年1月にセミナーを開催することで合意し、協議結果をMinute of Meetingとしてとりまとめ、1999(平成11)年9月10日、ガーナ保健省、WBIと調査団の三者により署名した。

セミナー名称は「Health Sector Finance and Community Health Financing in Africa」とした。1999年3月のWBIとの意見交換並びに8月のTV会議において、研修テーマは保健医療制度改革における人材開発をテーマとして取り上げるべく協議したが、今回の協議の結果、制度改革に重点を置いたセミナー型の研修を実施することとした。

研修の目的として、アフリカ各国で急務とされる保健医療制度改革のなかで、保健医療財政をテーマとし、アフリカ地域において今後早急に取り組む必要があると考えられる地域保健医療財政と財源管理のあり方についての研修と、これに関してアフリカ各国の経験の共有を目的とすることとした。研修により期待される達成目標として、

- (1)医療制度改革と医療財政の意義とその内容についての理解を深めること。
- (2)地域医療財源確保のあり方を改善しその体制を強化するために理解すべき、基本枠組、基準、前提条件と各国特有の特性について理解を深めること。
- (3)アフリカにおける地域医療財政改革において得られた経験と教訓について参加各国で共有し、これを各国の制度改革に反映すること。
- (4)参加各国における現状報告と確認。
- (5)アフリカにおいて地域医療財源確保と管理において考慮すべき重要事項実施時期は2000年1月に実施することとした。

対象者は各国の医療制度改革実施において、特に保健医療財政あるいは地域保健医療財政改革の計画あるいは実施を担当する各国の上級職員とし、期間はこれら各国上級管理職職員の参加可能な期間を考慮し、1週間とした。

対象国は3月にWBI側と合意した15ヶ国に加え、ナイジェリアと象牙海岸共和国の計17ヶ国を対象国とすることとした。定員は上限を40名とし、内15名はガーナ政府により推薦された者とした。選考にあたっては、ガーナ保健省人材養成局が応募者選考にかかる調整を実施し、WBIとJICAはこれを支援

することとした。

ガーナ保健省、WBI と JICA の役割分担については、ガーナ保健省が第三国研修実施国機関として受入れ並びに実施を担当することとし、WBI は実施経費の一部負担と研修の核となるアフリカに於ける医療財政にかかる研修計画の作成と講師の派遣を担当し、JICA は実施経費の一部負担並びに医療財政の内、地域保健分野の専門家の派遣と講義を担当することで合意した。

実施までの時間が限られていることから、詳細な協議と合意確認ができなかった一部事項については、引き続き連絡調整を続けることとした。また、割当国への情報提供は WBI 並びに JICA の連絡網を使用しガーナを支援するとともに、ガーナ側の実施準備と促進のための調整専門家の派遣を検討する必要があることを確認した。

WBI と JICA の連携により第三国研修を実施するにあたっては、過去 TV 会議を含め 2 回の協議と意見交換を行った。本調査では、実施国となるガーナを含め、共同研修の詳細検討のため 3 回目の協議を実施したが、WBI と JICA の実施制度ならびに意思決定のあり方の違いから、一部の事項については合意に到らず、研修開催時まで調整し、決定する必要が生じた。

1 調査の概要

1-1 目的

世界銀行開発研究所(World Bank Institute:WBI、1999年3月に Economic Development Institute :EDI から改称)と連携し、保健医療制度改革に係る第三国集団研修をガーナ共和国で実施するため、ワシントンに調査団(第1次事前調査)を派遣し、今後の本件取り進め方につき協議した。1999年9月には調査団(第2次事前調査)をガーナに派遣し、連携機関である WBI と実施機関であるガーナ保健省の3者で協議し、合意事項をミニッツとして署名交換することを目的とした調査を実施した。

1-2 調査の背景

WBI は経済開発のための人材育成と知識普及のための訓練プログラム開発とその実施を目的として、1955年に設立された。1997年に WBI 関係者と我が国外務省経済協力局との協議において、世銀と我が国との間でパートナーシップによる共同事業の実施を検討することが合意された。特に WBI が広く実施している途上国における人材育成と、JICA の実施している第三国集団研修は人材育成の実施を目的とし、共通する事業であるとの認識から、世銀との連携による JICA 第三国集団研修の共同実施の検討を進めることとなった。

1999年3月に第三国集団研修スキームの説明とアフリカにおける共同研修開催の協議を目的にワシントンに調査団が派遣された。協議の結果、我が国の医療分野の協力実績及びアフリカにおける援助の重点実施国で実施体制も整っていることから、実施候補国をガーナ共和国、実施候補機関をガーナ保健省とすることで合意した。また、研修実施に向けた詳細実施合意事項(R/Dドラフト)の協議を、ガーナにおいて WBI、ガーナ保健省及び我が方3者で実施することが合意された。その後、関係者間の日程調整により右事前調査団を9月に派遣することとなった。

2 調査概要

2-1 第1次事前調査

2-1-1 対処方針

別紙参照

調査項目及び対処方針

調査項目	調査細目	対処方針
枠組みの整理	a) 協力期間	これまで特に議論は行っていないが、とりあえず今回の1回のみの開催とし、今後の協力可能性については可能な範囲で意見交換を行う。もしくは1回目を開催した後の評価を受けて決定することとする。
	b) 開催国	当初EDIからはガーナもしくは南アフリカとの提案があったが、現在までのわが国の協力実績および援助重点国であることからガーナとする。EDI側も了承済み。
	c) 開催日時/期間	10月頃の開催を目指す。ガーナ側の実施体制等も考慮し遅らせることも検討する。なお、開催期間については、協議し、詳細をつめる。
	d) 参加国、定員	英語圏アフリカを対象とする予定。詳細については協議する。ただし、EDIより援助停止国（例：スーダン）を割り当てたい旨提案があった場合には、参加経費はEDI負担とする。なお、その場合R/D,G.I等に国名の記載ができないことをEDIに説明する。
	e) ターゲットグループ	EDIから提案のあったように保健医療分野の政策策定・決定に携わる者を対象とする方向で協議する。
	f) 三者の費用負担	JICA及びEDIが派遣する講師及びスタッフにかかる経費は双方それぞれが負担し、研修開催経費については原則としてJICAとEDIが折半する。ただし、日本側負担額の上限は1000万円とする。 またガーナ側については可能な限り研修実施経費の一部負担を求めたいが、本件は開催国からの要請によらず、JICA-EDIが実施を逆提案するものであることから実施国（機関）に経費負担は求めないという対応も検討する。 ただし、費用の折半方法については検討が必要。例えば宿泊費をEDI負担、航空賃をJICA負担にするというように費目毎に負担する方法や、経費の概算を算出し、単純に折半する方法などが考えられる。 なお、EDI側算出の実施費用は以下の通り。計\$200000 専門家派遣にかかる費用\$50000(旅費 \$ 25000,宿泊費 \$ 25000) 研修員受入諸費\$50000 その他\$100000 (モジュール教材開発\$50000,遠隔地教育教材\$35000,教材費\$10000,印刷費\$5000) 上記以外の経費（ガーナ側の講師謝金、会議費等）についても協議する。
	g) 専門家派遣	EDIは自らの負担で数名の専門家を派遣し、日本側も自らの負担で1、2名の専門家派遣を行う。
	h) セミナー報告	本セミナーは日本と国際機関が連携した協力であり、今後の参考となりうること、またセミナーのテーマは参加国にとって有用と考えられることから、第三国研修で通常義務づけられるレポート（要約版）の他に、プレゼンテーションやディスカッションの詳細が網羅された報告書の作成を提案する。また、どこが、責任を持って作成をするのか確認する。なお、通常JICAが実施している第三国研修のレポート等の例を提示する。
	i) M/Mの署名交換	調査団との協議事項をミニッツにまとめ、署名交換する。R/D案についてはガーナにおける2次調査において、3者で内容を協議し、署名交換する。

調査項目	調査細目	対処方針
セミナー内容	a) テーマの詳細	<p>EDI側の提案は以下の通り。 途上国における保健セクター分野の問題点（例：医療従事者の数の不足、また医療従事者の配置の地域間格差、保健分野の労働条件の悪さ、保健医療カリキュラムの質の向上、医療従事者の再訓練等）の改善を図るための、当該分野における人材開発に焦点をあてる。 研修内容の詳細（カリキュラム作りのようにTechnialな研修内容か、もしくは理論の研修か等）については、現地調査時に協議する。 また、共同セミナーであることからEDIが日本側に期待している役割を明確にする。</p>
	b) 研修目的	保健医療セクター改革にかかる人材育成を目的とする。詳細は現地にて協議。
	c) 研修実施形態	セミナー形式とする。
	d) カントリーレポート	各国からの参加者によるカントリーレポートの発表、総括討論会、等の有無について協議する。
	e) 評価会	研修の評価方法の確認。またその評価をどのようにフィードバックするのかを協議する。
	f) その他	教材開発をした場合に今後の利用方法について協議する。また、遠隔地教育と本件第三国研修の関連を明確にする。
2次調査の確認事項	a) ガーナの実施体制（責任省庁）	ガーナ側は研修内容との関連性から、保健省が責任省庁となることが想定される。日本側の第三国研修のスキームから言って可能な限りガーナ側に積極的に参加させることとする。
	b) 調査時期	6月頃を予定。EDI側と合同調査にするべく、EDI側の都合を確認する。
	c) 作業グループ	GI作成、応募勸奨、選考等を行うために、ガーナ実施機関が中心となって日本、EDI、ガーナの3者からなる作業グループをアクラに設置するのも一案である。
	d) 応募勸奨	基本的にはガーナが、GIの作成、送付、要請書の取り付け等を外務省を通じ行うこととすることをEDI側に提案する。
	e) 選考	応募勸奨と同様に基本的には作業グループが選考を行うこととすることを提案する。
	f) その他	ガーナ保健省で実施中の保健医療分野のプロ技と本件第三国研修との連携のあり方について協議する。

2-1-2 調査結果

・開催国

ガーナの方向で検討。

しかし EDI にとってはアフリカ諸国の中では南アフリカがパートナーであり、南アフリカで第三国研修を実施することが望ましいとの希望が出されたが、JICA にとってはガーナの方が技術協力の実績、第三国研修を既に実施済みで、そのマネジメントに関するノウハウが蓄積されていることからガーナで実施することとしたい旨回答した。EDI は JICA の要請を了承し、4 月に行なわれる予定の会議で、南アフリカのカウンターパートに対し、事情を説明の上、ガーナで実施することの了承を得るとのことであった。

・開催日時

1999 年 12 月-2000 年 1 月。

・開催期間

2 週間程度。

・参加国・定員

定員は 40 名、内 20 名は実施国ガーナからの参加とする。

割り当て国は英語圏アフリカ（一部英語が話せる人材がおり、EDI 側の希望で割り当てた仏語圏も含む）で、以下の 15 カ国が想定される。

南アフリカ、セネガル、ボツワナ、レソト、スワジランド、ナミビア、タンザニア、ケニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ、エチオピア、エリトリア、マラウイ、ナイジェリア

また、EDI からガーナから Observer としてあと 15 人位参加させたいとの提案があり、その場合は EDI が費用を負担する。

・ターゲットグループ

各国保健省、大蔵省等にて保健医療制度改革に携わっている者。

ガーナについては国家レベル、provincial レベルで保健医療制度に携わっている者（15～20 名）とする。

・リソースパーソン

EDI 側からは EDI はもちろんのこと、WHO 等から専門家を派遣し講義を受け持ってもらいたい旨話があった。また、EDI はガーナの保健省 (Dr. DOLVO, Director, Human Resources Division、Dr. SAGOE, Deputy Director, Human Resources Division) とは既にコンタクトをとっており、同セミナー実施に対し、前向きに協力する旨回答を得ているとのことであった。

・研修内容

Health Sector Reform を主題に Health Workforce Development を取り上げる研修内容とすることとした。ただし、Human Resource Development に関する教材は現在まで完成していないことから、今後 EDI 内の検討を経て研修内容の

確認がなされる。ガーナを対象としたケーススタディ(ガーナ側の貢献も期待される部分)や日本人専門家による講義(Quality Control, Micro Finance)もこの中で検討が進められることになる。

・経費

JICA 側より JICA が負担できる経費とできない経費を説明した。また日当、宿泊代については今年度までガーナ野口研で実施している第三国研修の単価が参考になる旨提案した。

・第2次事前調査

JICA 側から6月にガーナにて合同調査を実施したい旨提案した。EDI からは同調査のためだけに出張の予算をつけることは困難であり、他のアフリカ出張(おそらくセネガル)と関連させてガーナに行くことになるであろう、しかしセネガル出張の時期に関しては、後1カ月程しないと判明しないとのことであった。

・今後の進め方

EDI 側にとっては、4月21日に予定される保健分野の技術会議において、本件セミナー(EDI が本部で実施している flagship program と密接に関連している。)の基本的な方向性を今回の M/M をベースに確認することが予定されているが、内部で意見が統一されていない面もみられ、同会議の動向を注視する必要がある。同会議で基本的に了解されれば、EDI 側が draft する研修内容および教材について、日本人専門家、EDI およびガーナ側と協議の上、詳細をつめていくこととなる。またロジについてもやるべきことをリストアップして、期限をつけ、3者の責任を明確にしておく必要がある。

Joint Proposal については、EDI 側が責任をもって作成し、JICA 側がチェックをした後に5月下旬を目処にガーナ側に提示することとする。

2-2 テレビ会議

2-2-1 実施経緯

7月下旬、世界銀行 WBI より、米国(ワシントン)の世界銀行本部(WBI)、と東京の JICA(本部)及びガーナ(アクラ)のガーナ保健省と JICA 事務所の3地点関係者による、テレビシステム会議の提案があった。

本会議は、1999年3月の第一回調査で WBI と合意した研修内容である「保健医療制度改革における人材開発」を WBI が「保健医療財政: Health Financing」へ変更することを申し入れたため、この変更を、9月にガーナで予定されている3者による現地調査前に協議しておくことを目的として、WBI の要請により開催された。

テレビ会議システムの準備、参加関係者への連絡と会議議題についての調整を経て、8月10日に下記の日時において、3地点を接続したテレビ会議を実

施した。なお、我が方参加者として、第1次事前調査以来、本研修実施に当たり専門的な指導を依頼している、東北大学の上原教授並びに琉球大学の小川助手にも協力を依頼した。

JICA 本部 : 1999年8月10日午後 8時5分~同 9時55分
ワシントン : 同日 午前 7時5分~同 8時55分
(世界銀行本部)
ガーナ : 同日 午前11時5分~同12時55分
(在ガーナ世界銀行事務所)
(小川琉球大学助手はインドネシアより電話参加
インドネシア時間: 同日 午後 6時5分~同 8時55分)

2-2-2 協議事項

WBI 提案によるテレビ会議の会議次第は表2-1のとおり。

WBI 側より、今回のテレビ会議開催の主旨である、研修テーマの変更と研修概要、研修期間の短縮についての説明が行われた。3月の協議結果では、WBIは実施パートナーとなるガーナ保健省との協議に先立ち、研修実施方針案並びに研修概要案を作成することが確認されていたが、今回のテレビ会議において、(1)研修テーマを「地域保健医療財政と財源の管理」とし、合意された「人作り」については研修における位置付けを見直す、(2)対象とする参加者を政策決定に関わる上級行政職とし、研修期間を7日間程度に短縮することで、研修への参加を容易にしたい、との説明があった。当初合意されていた「人作り」をテーマとする研修の実施については、研修の目的が不明確になること、対象者が政策決定に関与する各国の政府職員となる場合、特定の技術あるいはテーマにそった研修はこれら対象者にそぐわない内容となるとの見解が示された。これに対し、当方より研修内容ならびにその詳細が示されないままに JICA 側の考えを回答することは困難であること、また、保健医療制度改革を途上国自身が進めるにあたっては、中央政府の意向或いは決定を地方政府、および現場へ伝達し、これを確実に実行する人材の配置とその育成が不可欠であり、こうした人材の育成と訓練のあり方について、研修で取り上げることは重要であることを主張した。

WBI 提案のテレビ会議開催についての申し入れについては、3月に合意された研修テーマの変更背景とガーナ側への事前説明を欠いた形でのテレビを介しての意見交換となったため、3者の十分な意見交換が行われたとはいえなかった。結果、9月にガーナで実施予定の合同会議において、WBI より提言された研修テーマの変更について再度三者協議を行うこととし、WBI は現地協議前に関係資料を作成し、可能な限り事前に配付することとした。

WBI は途上国の主要分野の改革を促進するにあたり、政策の変更と行政

機構改革の推進を重要とし、この実施にあたって当該国の自主性を強く求めている。保健医療分野における改革を進める WBI は、保健医療分野改革の推進に必要とされる主要改革テーマ単位毎の研修 Module を作成し、特に政策決定に影響のある上級職員を対象に、この module に基づく研修を様々な組み合わせで実施している。更にこの module 単位の研修に加え、他の国で実施された卓越した事例 (Best Practice) 紹介や各国の実施事例から得た経験と教訓を共有しつつ進める研修の手法を取り入れている。保健医療分野においては、特に、途上国の保健医療分野の持続的な発展の要となる制度の改革と医療財源の持続的な維持管理体制の確立を目的とした、「保健医療改革と保健医療財政と財源」を保健医療分野の旗艦プログラム (Flagship program) のテーマとして、新たな研修 module を作成しつつ、米国 (Washington) と途上国において研修を実施している。これらの研修プログラム、当然のことながら各国の保健医療政策の決定の政策決定並びに実施に強く影響力を有する上級行政官を主として対象として実施されている。世銀の Flagship program は欧米の研究機関に委託・作成された複数の独立した研修 Module により構成されているので、協議時点では、保健分野の人造り module は作成されていないとのことであった。

2-3 第2次調事前調査

2-3-1 基本協議方針

第2次の現地調査の協議方針については、1999年3月実施の事前調査結果に基づき以下のとおりとした。

- (1) 「保健医療制度改革」をテーマとした研修を、WBIならびにガーナ政府関係機関と共同し、第三国研修を1999(平成11)年度内に実施する。
- (2) アフリカ地域においては、WBIとの連携による第三国研修はこれが初めてとなるが、役割分担については1999年5月にフィリピンにおいて実施した「流域管理セミナー」で得られた経験と改善点を反映させることとし、アフリカにおいて円滑実施に必要と考えられる我が方措置あるいは先方からの要望については、柔軟に対応することとする。
- (3) WBIとの費用にかかる負担分担は原則同等となるよう調整する。実施国となるガーナ政府側には費用負担を求めるも、これを実施の絶対条件とはしない。

2-3-2 調査項目と基本対処方針案

(1) 協力期間

第1次事前調査時の合意内容に基づき、今回1回のみの開催とし、今後の協力可能性については可能な範囲で意見交換を行う。なお今後の共同実施可能性についてはセミナー開催後の評価を受けて検討することとする。

(2)案件名

「アフリカにおける地域保健財政（CHF）および人材開発（HRD）に係る保健医療制度改革：Health Sector Reform on Community Health Financing and Human Resource Development in Africa」を我が方の案とするが、名称については三者協議と合意により決定する。

(3)研修目的

英語圏アフリカ諸国からの参加者が、保健医療制度改革における地域保健財政（CHF）を含む保健医療経済および財政のあり方と改善に係る理解の向上と、参加国の制度改革の現状と経験を共有することを目的とする。

(4)到達目標

- ①保健医療制度改革、医療保健予算運営・財政の課題の理解
- ②各国保健医療制度における現状、成功事例、失敗事例の情報共有
- ③アジア・中南米等における事例の理解
- ④参加者による各国保健医療制度改革への改善点のため取るべき具体策の検討
- ⑤わが国技術協力（ガーナ母子保健医療サービス向上プロジェクト）における保健財政人材育成訓練への反映
- ⑥わが国技術協力の理解

(5)研修期間

2000年2月～3月の間で、2週間程度とする。

(6)研修テーマと構成

研修目的を達成するため、以下のテーマの研修を含むものとする。

- ①保健医療制度改革における財政の位置付け（世銀の研修モジュール使用）
- ②アフリカ諸国における保健制度改革の現状
- ③アフリカ諸国における医療経済と小規模財政支援ならびに管理の現状
- ④アジア、中南米における医療予算運営・財政支援にかかる事例紹介
- ⑤わが国医療協力（プロジェクト技術協力）の紹介

研修の構成は、以下のとおりとする。

- ①セミナー（第一週）とワークショップ（第二週）で構成する。
- ②第一週目は、WBI講師による医療制度改革、特に医療経済、財務管理、小規模財政(health economics, health financing, quality control, management capacity building)
- ③第二週は、アジア、中南米の事例発表（わが国専門家,WBI講師）ならびに各国からの事前レポートに基づき報告と参加者による意見交換、協議により、実施可能な保健医療制度改革計画を取りまとめる。
- ④わが国プロジェクトの概要報告
- ⑤ガーナ医療実施現場の視察（Study Trip）

⑥コース評価

(7)割当国

WBI との第一次調査により合意された次のアフリカ16ヶ国を割当国（案）とするが、ガーナ側の意向を確認後、最終決定する。

ボツワナ、エティオピア、エリトリア、ガーナ、ケニア、レソト、マラウイ、ナミビア、ナイジェリア、セネガル、南アフリカ、スワジランド、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ

(8)定員

割当国から15～20名とし、ガーナ側から15～20名とする。

(9)資格要件

- ①各国の医療制度改革に現在従事あるいは今後従事することが予定される者
- ②候補者は政府を通し要請越すこと。
- ③当該分野での職歴を10年以上有していること。
- ④年齢45歳以下であること。
- ⑤英語に堪能であること。
- ⑥軍務に従事していないこと。
- ⑦心身ともに健康であること。

なお、経験年数ならびに年齢制限等の資格要件については現地協議により決定する。

(10)実施機関

ガーナ側：ガーナ保健省人材開発局を協議先とする

WBI：協議により確認

日本：JICA（本部およびガーナ事務所）

調査により以下の事項の確認を行う。

- ①ガーナならびにWBIの実施体制・責任者を確認する。
- ②プロジェクト関係者の現地協力の可能性を確認する。

(11)研修実施場所

ガーナ大学付属野口記念医学研究所あるいはガーナ大学における会議施設の利用を検討する。また他に会議施設の借用が必要となる場合、その経費分担について協議する。

(12)応募方法

- ①割当国は外交ルートを通じ、セミナー開催60日前までに候補者にかかる所定の要請書3部をガーナ政府に提出する。
- ②ガーナ政府は外交ルートを通じ、要請者の受け入れ可否について割当国にセミナー開催30日前までに通知する。

(13)業務分掌

セミナーの編成および実施に関し、ガーナ政府および日本政府は関係法、規定に則った方針をとり、WBI は内部基準、規定に則った方針をとることとする。

ガーナ外務省は、

- ① 外交ルートで割当国に G.I. を送付する。
- ② 要請書接到後、ガーナ保健省に送付する。
- ③ 外交ルートで割当国に候補者選定の結果を通知する。
- ④ 選定委員会に参加する。

ガーナ保健省は、

- ① 日本側、WBI とともにカリキュラムに基づいたセミナー内容を形成する。
- ② G.I. を起案および作成する。
- ③ セミナー運営にかかわる適切な人員数を配置する。
- ④ 選定委員会を調整する。
- ⑤ 研修員の宿泊施設および医療保険を手配する。
- ⑥ 研修員の航空券を手配するとともに、空港にて出迎え・見送りをする。
- ⑦ 国内研修旅行を手配する。
- ⑧ 日本政府および WBI によって支給される予算以外のセミナー運営に必要な経費を負担する。
- ⑨ 研修終了証書を作成する。
- ⑩ セミナー終了時に評価セッションを設定する。
- ⑪ セミナー終了後 30 日以内に経費精算を JICA 事務所および世銀事務所に提出する。
- ⑫ 評価委員会に参加する。
- ⑬ 日本政府と WBI とともにセミナーの成果をまとめる。
- ⑭ 研修期間中全ての活動に関し調整を行う。

日本政府は、

- ① ガーナ保健省、WBI とともにカリキュラムに基づいたセミナー内容を形成する。
- ② 我が方技術協力の通常手続きに従い、短期専門家を派遣する（ガーナ保健省は派遣予定 3 ヶ月前までに派遣要請する）。
- ③ 選定委員会に参加する。
- ④ 研修者の受け入れ費用を含むセミナー費用を負担する。

WBI は、

- ① ガーナ政府、JICA とともにカリキュラムに基づいたセミナー内容を形成する。
- ② 講義を担当する専門家を派遣する。
- ③ 選定委員会に参加する。
- ④ 評価委員会に参加する。
- ⑤ 研修者の受け入れ費用を含むセミナー費用を負担する。

(14)経費関係事務

- ① ガーナ保健省人材開発局はガーナ国内に第三国研修用の銀行口座を開き、JICA 事務所および WBI に銀行名、口座番号、口座名義人を通知する。
- ② ガーナ保健省人材開発局はセミナー開始 60 日前までに JICA 事務所および WBI に所要経費の概算を提出する。
- ③ JICA と WBI は経費概算提出後 30 日以内に査定し、送金する。
- ④ ガーナ保健省人材開発局はセミナー終了後 30 日以内に JICA 事務所および WBI に経費精算書を提出する。
- ⑤ ガーナ保健省は支給された経費の内未使用分については JICA 事務所および WBI の指示に従って返済する。
- ⑥ JICA あるいは WBI の要望があれば領収書その他の文書を提出する。

(15)経費負担分担

- ① JICA および WBI が派遣する講師およびスタッフにかかる経費は双方それぞれが負担し、研修開催経費については原則として JICA と WBI とで応分負担とする。但し、日本側負担額の上限は 1,000 万円を目安とする。
- ② ガーナ側については可能な限り研修実施経費の一部負担を求めるが、本件はガーナ側の要請に基づかない、我が方のオファーによる国際機関との連携研修であることから、ガーナ側の負担は強く求めない方針とする。
- ③ JICA および WBI が派遣する講師およびスタッフにかかる経費は双方それぞれが負担し、研修開催経費については原則として JICA と WBI とで折半する。(専門家派遣ならびに調査団派遣経費はこれに含めない)
- ④ ガーナ側ローカルコスト負担についてはフィリピンで実施した「流域管理セミナー」に準じる。
- ⑤ 経費分担については、実施経費積算に必要とされる経費情報を確認して決定する。また、追加的に必要とされる経費の発生もあると予測されることから、R/D 案においては費用負担項目にのみの合意とし、経費については別途 JICA 事務所間の連絡をもって合意形成を図ることも検討する。調査団がガーナ滞在中に概算積算が未了の場合は、経費負担分担のみの合意とし、概算額については後日三者により合意形成を図ることと

する。

⑥ガーナ側に実施経費（受入および研修実施経費）の積算を依頼する。

(16)R/D案

フィリピンで実施した「流域管理セミナー」に準じることとする。

(17)その他確認を要する事項

- ①ガーナ側ローカルコストの我が方負担
- ②第三国専門家制度による周辺国専門家の招へい
- ③実施報告の議事録集としての印刷、製本、配布
- ④各国事情発表用の質問状の作成
- ⑥次年度の実施（第2回）の有無

2-3-3 協議結果

調査団は、ガーナ保健省（人材養成局）とWBIと共同により、2000年1月最終週に保健医療制度改革における医療財政と地域保健財政にかかるセミナーをガーナにおいて実施すること並びにこのための準備と役割分担について意見交換し、合意事項をMinute of Meetingとしてとりまとめ、1999年9月10日、ガーナ保健省人材養成局長代行（Dr.K.Sagoe）、WBI（Dr. E. Boostrom）と調査団の三者により署名した。

協議により合意した事項は以下のとおり。

1) セミナー名称

「Health Sector Finance and Community Health Financing in Africa」とした。

2) 研修の目的

研修の目的は、特に英語圏アフリカ諸国を対象とし、医療制度改革と地域保健医療財源の確保と管理のあり方及び参加各国の経験の共有を目的とすることとした。

1999年3月のWBIとの意見交換では、保健医療制度改革における人材開発をテーマとして取り上げ、現在ガーナで実施されている「母子保健医療サービス向上プロジェクト」協力の目的の一つとしている母子保健医療従事者の再訓練制度の構築・強化に関連し、人材育成にかかるコストとコスト管理ならびに運営・管理能力の育成についての協力の現状と事例を取り上げることがを提案した。世銀側は人材育成をテーマとはせず、研修のテーマ変更の説明として、保健医療分野(Health Sector Reform)の一環として、人材開発(HRD)の戦略について世銀のFlagship Program Moduleを完成し、これをアフリカ地域諸国に導入、普及を図る計画であった。しかしながら、このmoduleが1999年中の完成が見込めないことから、Health Sector Finance（保健医療財政）を主題とし、アフリカ

地域において優先的な対応が望まれる、Community Health Insurance (地域保健保険) を研修課題としてとりあげたいとの説明があった。世銀は module 開発にあたっては外部の大学等の教育・研究機関へ委託し作成をする方法をとっているが、Community Health Financing (CHF) module 完成の日程が不明であることから、今回の共同研修実施にあたっては既に module の作成が進められている Community Health Insurance を講義課題とした Conceptual Framework を確認しつつ研修構成を確定することとした。また Conceptual Framework に沿った参加各国の事例と教訓の事前報告を受け、研修内容に反映させることとする旨合意した。また、調査団(上原東北大学教授)より、研修日程案(表2-2)をWBIの研修日程作成の際の参考として提示した。

- 3) 研修参加により期待される達成目標として、以下の事項を設定した。
- (1) 医療制度改革と医療財政の意義とその内容についての理解を深めること。
 - (2) 地域医療財源確保のあり方を改善しその体制を強化するために理解すべき、基本枠組み、基準、前提条件と各国特有の特性について理解を深めること。
 - (3) アフリカにおける地域医療財政改革において得られた全体的な経験と教訓の共有。
 - (4) 参加各国における現状報告と確認
 - (5) アフリカにおいて地域医療財源確保と管理において考慮すべき重要事項
- 3) 実施時期は2000年1月最終週で合意した。

実施時期の検討については、年度末(3月)の実施を我が方の方針としたが、保健医療財政にかかる研修 Module 作成にも深く関与している WBI 側のリソース・パーソン (Harvard 大学シャオ教授を予定)。また合意された研修テーマのコース概要開発ならびにセミナーの講師を担当の参加可能時期が1月あるいは4月中旬であるとのことから、この時期の実施が WBI 側より提示された。また、ガーナ側からは4~5月にかけて、開発計画の中間見直し(Mid-term Review)と取り纏めの作業が予想されることから、この時期の実施は困難である事が表明された。これを受け、セミナー実施準備期間は4ヶ月間となるが、三者の協力ならびに連絡網を活用した応募案内、勧奨を行う事により2000年1月末の研修実施を合意した。

- 4) 研修プログラムは対象者は各国の医療制度改革実施において、特に保健医療財政あるいは地域保健医療財政改革の計画あるいは実施を担当する上級職としたことから、これら各国上級管理職職員の参加可能な期間

を考慮し、期間は1週間とした。

研修の構成は、前半(2.5日)を保健医療分野の財政改革と体制強化全般にかかるWBI開発のModuleに準じて実施し、後半(2.5日)は「地域保健医療財政」をテーマとし各国参加者によるグループに分かれた報告、意見交換によるワークショップ型のセミナーと本テーマに関連したガーナにおけるプロジェクト事例であるサイトの見学により構成することが基本的に合意された。日本側の提案については別紙 CHF session のとおり(表2-2)。

対象国は3月にWBI側と合意した15ヶ国に加え、ナイジェリアと象牙海岸共和国の計17ヶ国を対象国とすることとした。

- 5) 定員は上限を40名とし、内15名はガーナ政府により推薦された者とした。なお、各国からの参加者人数で、複数名の参加希望がある場合は優先順位を付すものとし、選考により、資格要件を満たしている場合は全体予算、人数を勘案し受け入れも検討することとした。なお参加者は各国1名の政策レベル担当者と成功事例を持つ国においては実務レベルも1名参加可とし募集する。
- 6) 参加資格要件は下記のとおりとした。
 - (1) 各国政府により推薦された者
 - (2) 現在あるいは将来保健医療分野改革あるいは保健医療財政政策の計画あるいは実施に関わる予定のある者
 - (3) 保健医療財政あるいは地域医療財政に関連する業務に3年以上の業務経験があること
 - (4) 英語によるセミナーが理解し発言できる英語力を有する事
 - (5) 軍籍に属さない者
 - (6) 健康である者
- 7) 実施場所についてはアクラ市内の会議施設を有するホテルあるいはガーナ大学の会議室で実施することで合意した。本セミナーは講義型に加え、小グループ(3から4グループ)による意見交換並びに発表により実施を検討している。現在拡張工事中の野口記念医学研究所新会議施設(大会議室100から200人収容可、1室と20名程度収容可能な会議室2室)は現在内装工事が進められ、平成12年3月中旬には完工し、使用可能であると野口記念医学研究所関係者からの説明があった。今回は実施時期が1月末で合意されたため、市内のホテルの会議施設あるいはガーナ大学の会議施設においてセミナーを実施することとなった。
- 8) 応募手続きと期限(資料-1: R/D案のAnnex II 参照)
ガーナ政府は10月20日までにコースインフォメーション(GI)を関係各国に送付する。また参加を希望する国は11月15日までに応募用紙

をガーナに提出する。ガーナ側は 選考結果を12月8日までに応募国に回答する。なおWBI並びにJICAはその連絡網により同時に関係各国へセミナーにかかる情報の提供と応募督促等の支援をおこなうこととした。

9) 選考手順

応募者の選考はガーナ保健省人材養成局が主となり応募者の資格要件の適合性並びに各国優先順位を検討し、WBIとJICAはこの検討案の報告を受け最終合意形成を図り参加者を決定する。

10) ガーナ保健省、WBIとJICAの役割分担

ガーナ保健省は第三国研修のうち、以下の業務を実施する。

- (1) GIの作成、配布
- (2) セミナーの円滑な準備、実施にかかる人材の配置
- (3) ガーナ保健省外のリソースパーソンについてWBIとJICAへ提言を行う。
- (4) 選定にかかる調整業務
- (5) セミナー参加者の宿舎並びに保険の準備
- (6) ガーナ国内参加者の円滑な移動のための調整
- (7) 参加者の航空券手配並びに到着時の便宜供与
- (8) フィールドトリップの実施準備と調整
- (9) セミナー実施経費の負担(含むガーナ国内参加者の経費)
- (11) 参加証明書の作成発行(様式案はガーナが作成)
- (12) 評価の実施(開・閉講時)
- (13) 支出報告
- (14) 合同評価の実施と参加
- (15) コース実施報告書の作成(セミナーで使用した報告書、教材等は簡易製本し関係者へ配付することとする)
- (16) JICAとWBIの分担事項

JICAは第三国研修のうち、以下の業務を実施する。

- (1) 日本人専門家(resource person)の派遣
- (2) 選考への参加(事務所)
- (3) 合同評価への参加(事務所あるいは本部調査団としての参加を検討する)
- (4) 参加者経費の負担

WBIは第三国研修の内以下の業務を実施する。

- (1) 専門家(resource person)の派遣
- (2) 選考への参加

- (3) 合同評価への参加
- (4) 参加者経費の負担の検討

2-4 実施までの準備事項

実施までの準備手順とスケジュール（案）については、以下のとおりとすることで合意した。

- 1) 概算経費の積算と経費負担詳細の確定（10月中旬迄）
- 2) 世銀招聘国の確定（10月中旬まで）
- 3) R/Dの10月中の署名
- 4) WBIによる保健医療財政にかかる研修枠組みと詳細カリキュラム案の作成
- 5) ガーナ国内参加者のための1日セミナー実施の可能性の検討。
- 6) 実施までの詳細実施スケジュールの作成。
- 7) 実施までの時間が必ずしも十分でない事から、割り当て国への情報提供はWBI並びにJICAの連絡網を使用しガーナを支援する。特に12月は各国の作業が停滞することが予想されるため、12月上旬までに主要作業を完了することが必要である。
- 8) ガーナ側の実施準備支援あるいは進捗管理のための調整専門家の派遣を検討する。
- 9) 本研修は今後三者の間で連絡を緊密に保つとともに、作業進捗管理表を表2-3のとおり作成し、これに基づいて準備を進めることで合意した。

3 実施上の留意事項

- 1) 本共同研修は WBI が実施する flagship program に準じた内容になる事が想定されているが、地域保健財源 community health financing については現在 module が作成されていないことから、community health insurance を中心としたモデルの実施が予想される。時間的な制約を考慮し、多くのアプローチを研修に含める事は困難であることから、WBI に対し研修の枠組み (framework) の提示を求めた。この framework に基づき参加各国の適用を検討することが重要であり、framework の早期作成と参加国への事前連絡が必要である。
- 2) 我が方はグループ討議の主宰や、討議の中で取り上げるべき個々の課題について事例の提示、助言の提供をする事が必要である。
- 3) Conceptual framework に基づき、参加各国の事例を事前に取りまとめアフリカの地域特性や事例を検討する必要があることから、各国へ実施の案内と共にカントリーレポートの記載事項の作成に関与する必要がある。
- 4) 期間が 1 週間であることから各国の関係者の討議においては、進行役が事前に各国のレポートの内容を十分に理解しておくことが求められることから、関係者間の緊密な連携と情報交換が必要である。
- 5) セミナー期間中に予定される視察旅行 (field trip) 先の本セミナーの内容にふさわしいサイトの選定が必要である。
- 6) 研修内容の作成と研修の実施準備については、ガーナ保健省と WBI に大きく依存することから、JICA ガーナ事務所及び米国事務所との連絡を密に取るとともに、実施の案内ならびに募集にあたってはアフリカ地域の JICA 事務所による支援を得る事が必要である。
- 7) 経費の積算及び負担について、関係機関における制度上の違いから、同一歩調をとることが困難と考えられることから、ガーナ保健省からの積算にかかる回答とは別に、我が方試算による余裕をもたせた積算による支出対応も必要となる場合があると思われる。

表 2 - 1 テレビ会議次第と参加者

Time (DC)	Topic	Procedure
06:30 - 07:00 (30 min)	Connection established	WBLN makes videoconference connection calls to JICA HQ Japan and Ghana and telephone connections to Dr. Sumiko Ogawa in Indonesia
07:00 - 07:15 (15 min)	Welcome and greetings to the participating sites Introductions of participants	Keiko Oyama (WBI) extends greetings to each site and asks each site to extend greetings back. (Good morning, good afternoon and good evening to Ghana and JICA. I would like to invite Dr. Tinorgah to say hello to us from Ghana (this will be someone who is moderating in Ghana). Thank you, and I would like to invite Dr <?> from JICA to extend greetings (this will be someone moderating from JICA). Keiko Oyama invites all participants to introduce themselves
07:15 - 07:20 (5 min)	Rationale, objectives and agenda of videoconference	Dr. Boostrom gives a brief overview of the rationale, objectives and agenda for the videoconference.
07:20 - 07:25 (5 min)	Summary of objectives and background of proposed early February 2000 course in Ghana, on Health Care Finance and Community Health Financing	Dr. Boostrom gives a brief summary of the background of the conference including the shift from a focus on Human Resource Development issues to Health Care Finance and Community Health Financing. (Major changes and delays, to November 2000, of Flagship Program's development of module dealing with Human Resources in health sector, now to be from an economic perspective of long term investments. Demand for Health Finance training; importance of Community Health Financing in Africa.)
07:25 - 07:40 (15 min) [FIVE minutes per	Presentations: Tanzania's	Dr. Boostrom provides a 5 minute

presentation]	<p>Community Health Fund experience</p> <p>"Community Health Insurance in Low-Income Countries" and her paper on "Community Health Insurance in Bangladesh: A Viable Option?"</p> <p>Ghana's Maternal and Child Health Project</p>	<p>summary of key points for responses from Ghana and JICA</p> <p>Shiyan Chao gives an overview of her presentation and highlights the issues to which she would like responses from Ghana and JICA.</p> <p>JICA Ghana office presentation, focused on relevance for planning of the February 2000 seminar.</p>
07:40 – 07:50 (10 min)	Response from Ghana	Ghana responds to key points.
07:50 – 08:00 (10 min)	Response from JICA	JICA responds to key points.
08:00 – 08:10 (10 min)	Review of current state of plans, proposals and arrangements for the September mission to Ghana and for the February course in Ghana	<p>Dr. Boostrom provides an overview of state of plans and proposals. Then invites Ghana and JICA to respond to points that need to be addressed, including:</p> <p>(i) Seminar content: Health Finance and Community Health Finance, and possible session on Financial Implications of Human Resources in Health Sector VS Seminar on Human Resources Development (favored by JICA Tokyo and JICA Ghana; could this be a one-week seminar, since it would require special preparation and not involve an existing Flagship module?) VS 3-5 days on Health Finance/Community Health Financing and 3-5 days on Human Resources Development (unlikely combination, which would appear fragmented; different audiences interested in the two topics?)</p> <p>(ii) Seminar duration: 1 vs 2 weeks,</p>

		<p>with advantages and disadvantages of each</p> <p>(iii) Possible venues for February (e.g., Noguchi Memorial Institute, near university and university guest house)</p> <p>(iv) Roles of WBI, Bank Resident Mission, MOH, JICA (Tokyo, Ghana, USA, Consultant Experts), Noguchi Memorial Institute (Accra)</p> <p>(v) September 8-11 mission plans and terms of reference</p>
08:10 – 08:25 (15 min)	Response from Ghana	Ghana responds to key points.
08:25 – 08:40 (15 min)	Response from JICA	JICA responds to key points.
08:40 – 08:50 (10 min)	Conclusions and goodbyes	Keiko Oyama summarizes the issues raised and required follow-up activities. She then invites the moderators in Ghana and JICA to express appreciations and salutations. A concluding farewell is stated by Keiko Oyama.
08:50	Connection closed	

テレビ会議参加者

Ghana

1 Ministry of Health of Ghana

Dr. Moses Abio

Deputy Minister for Health

Dr. Awudu Issaka Tinorgrah

Director of Medical Service

Dr. Ken Saigoe

Acting Director of Human

Resources Development

Dr. Frnk Myonator

Regional Director, Volta region

Mr. Patrick Nomo

Financial Controller

2 Noguchi Memorial Institute of Medical Research

Prof. David Ofori Adjei

Director

3 Project for the Improvement of Maternal and Child Health In-Service Training System and Program

Mr. Toshio Akiba

リーダー

Mr. Hirotsuga Aiga

人材開発専門家

4 The World Bank

Ms. Evelyn Awittor

Technical Officer

5 JICA ガーナ事務所

Mr. Fumio Miyagawa

次長

Mr. Shinya Tomonari

所員

Mr. Shinichiro Honda

企画調査員

Mr. Mathew Daliy

所員

Washington D.C., U.S.A.

1 World Bank Institute

Dr. Eugene Brostrom

Senior Public Health Specialist,

Human Development Group

Ms. Keiko Oyama

Officer, Partnership and Resources

2 JICA 米国事務所

Mr. Toru Taguchi

Resident Representative

Indonesia

1 Dr. Sumiko Ogawa

Research Associate,

Department of Preventive Medicine,

University of Ryukyu

JICA Tokyo

1 Dr. Naruo Uehara

Professor of International Health,
Tohoku University, School of Medicine

2 Mr. Katsuhiko Sasaki

Director, Africa Division,
Regional Department

3 Mr. Atsushi Hanatani

Deputy Director, Africa Division,
Regional Department

4 Mr. Nobuyuki Goto

Staff, Africa Division,
Regional Department

表 2 - 2 研修日程 (案)

<i>CHF session Option 1</i>		AM	PM
Day 4	Lecture on CHF		Case presentation on CHF models from 6 countries
Day 5	Group Disc. on CHF (User fees, CHI, DRF, Others)		Plenary Disc. and lecture on proposed policy guideline on CHF for African countries
	Comparison of strength and weakness of schemes		evaluation & closing ceremony
Day 6	Study tour to a field		
<i>CHF session Option 2</i>		AM	PM
Day 4	(1) Overview and proposed framework of CHF (2 h) (2) Cases of Best Practice of CHF in African countries (2 h)		Lecture on Community Health Insurance (CHI)
	Case presentation from 4-5 countries on model projects of CHF		Provision of cases, lessons, framework and issues to be considered on CHI in African region
Day 5	Group Disc. on issues concerned with sustainability of CHI		Plenary Disc. and lecture on agenda for installation of sustainable CHI in Africa
	i.g.; Ownership, Coverage, Organization, Management structure, Capacity building, Incentives, QA of services, Coping with cultures etc.		evaluation & closing ceremony
Day 6	Study tour to a field		

CHF session Option 3

	AM	PM
Day 1	(1) Overview and proposed framework of CHF (2 h) (2) Cases of Best Practice (2 h) Case presentation from 4-5 countries on model projects of CHF	Lecture on Community Health Insurance (CHI)
Day 5	Study tour Leave at 7:00 to return by 14:00	Provision of cases, lessons, framework and issues to be considered on CHI in African region Group Disc. on issues concerned with sustainability of CHI i.g.; Lessons learned, Management structure, Organization, Public-private mix, etc.
Day 6	Group Disc. on issues concerned with sustainability of CHI i.g.; Ownership, Service Coverage, Incentives, QA of services, Managerial capacity, Resource mobilization, Social & cultural issues, etc.	Plenary Disc. and lecture on key issues & agenda for installation of sustainable CHI in Africa i.g.; key factors for success, required data for policy decisions, guideline for strategic planning of installation of CHI
		evaluation & closing ceremony

CHF session Option 4

	AM	PM
Day 4	Lecture on orientation of framework of CHF models Case presentation from 4-5 countries on lessons learned	Lecture and case presentation on user-fee reform models
Day 5	Lecture and case presentation on prepaid - mechanism models	Framework, Key issues, Introduction of best practice from in/out of African region Plenary Disc. on policy implications and lecture on proposed guideline for policy decisions
	Framework, Key issues, Introduction of best practice from in/out of African region	evaluation & closing ceremony
Day 6	Study tour to a field i.g.; key factors for success, required data for policy decisions, guideline for strategic planning of installation of CHI	

CHF session Option 5

	AM	PM
Day 4	<p>(1) Lecture on orientation of framework of CHF models (2h)</p> <p>(2) Country reports on lessons of CHF (3h)</p> <p>Case presentation from 4-5 countries on lessons learned</p>	<p>Lecture and case presentation on user-fee reform models</p> <p>Framework, Key issues, Introduction of best practice from in/out of African region</p>
Day 5	<p>Lecture and case presentation on prepaid - mechanism models</p> <p>Framework, Key issues, Introduction of best practice from in/out of African region</p>	<p>Study tour</p> <p>Leave at 12:00 to return by 19:00</p>
Day 6	<p>Group Disc. on policy implications of identified key issues for selected CHF models</p> <p>3-4 groups according to selected models such as user fee reform, CHI, cooperatives, and integrated community funds etc.</p> <p>Issues- i.g.; Ownership, Resource mobilization, Incentives, Service Coverage, QA of services, Managerial capacity, credibility, etc.</p>	<p>Plenary Disc. on policy implications and lecture on proposed guideline for policy decisions</p> <p>i.g.; key factors for success, required data for policy decisions, guideline for strategic planning of installation of CHI</p> <p>evaluation & closing ceremony</p>

Which shall be the focus of learning objectives?

(1) to analyze the weakness and strength of *different schemes of CHF* such as;

Comparison among different schemes of CHF

i.g.; User fee for services (sliding scales, DRF, PROSALUD etc.)

Community health insurance,

Other Pre-paid mechanism (Health cooperatives, HMOs etc.)

Integration with micro-financing

Subsidy for the poor (Health card etc.)

etc.

(2) to identify key issues in *CHI (or CHF) specific to African countries*

In comparison with other regions

i.g.; Cultures (willingness to pay, healthcare seeking behavior, beliefs etc.)

Competition with other services, such as traditional healers

Role sharing between government and private sectors

Affordability to pay for premium and collecting mechanism

Basic health service package to be covered by CHI

Political/social factors in the community

Management capacity and credibility on sound operation

etc.

(3) to examine the *feasibility of CHI in African countries*

Comparison among participant countries according to structured questionnaire and criteria

表 2 - 3 ガーナ・WBI・JICA の役割分担

As of the 28th of September, 1999. JICA, Tokyo. (1 of 5)
 *◎:Main Responsibility ○:Sub Responsibility or Support

Month	Job (Due Date)	Task	The Government of Ghana (GOG)				The World Bank		JICA	
			GOG/ MOFA	GOG/ MOH	GOG/ MOH/ HRDD	WBI	Ghana Office	Headq- quarters	Ghana Office	
September, 1999	1. Drafting of G.I. (By the end of September)	1-1. Drafting of G.I.			◎					○
		1-2. Estimating of the gross costs			◎		○			○
		1-3. Confirming the names of countries of WB funded participants and informing JICA				◎				
October	2. Signing of R/D	2-1. Considering about dispatching a coordinator for the Seminar							◎	
		2-2. Considering about holding a one-day-seminar for the local participants			◎		○			○
		2-3. Estimating of shared budget					◎		◎	
		2-4. Signing of R/D					◎		◎	
		2-5. Drafting the framework of country information on country examples of CHF			○		◎		○	
		2-6. Finalizing draft of G.I.					◎		○	
		2-7. Development of Framework of Country Data/Report						◎		
		2-8. Printing G.I.					◎			

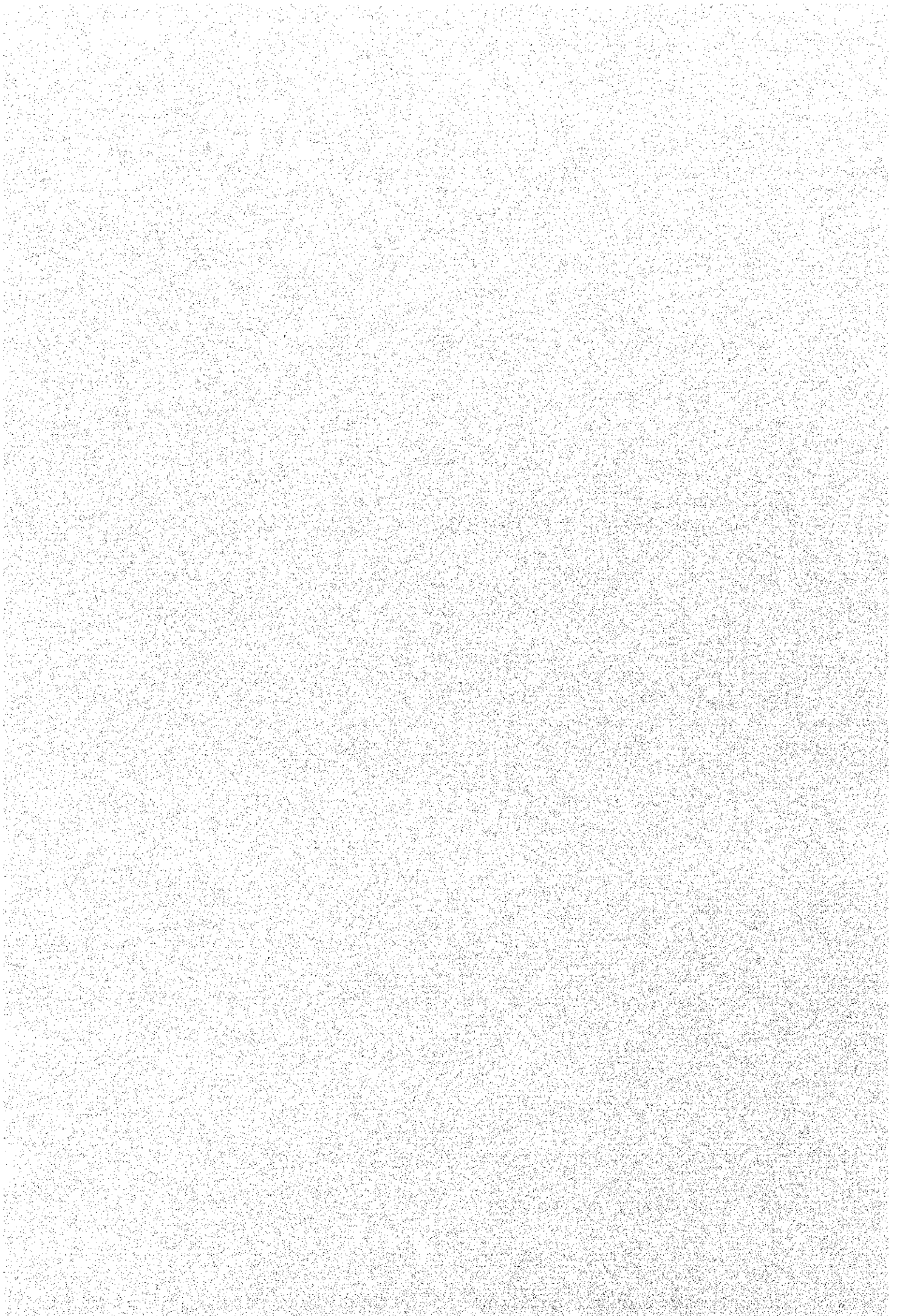
Month	Job (Due Date)	Task	The Government of Ghana (GOG)				The World Bank		JICA	
			GOG/ MOFA	GOG/ MOH	GOG/ MOH/ HRDD	WBI	Ghana Office	Headq- uarters	Ghana Office	
October, 1999	3. Distribution of G.I. and Framework of Country Data/Report (20th October)	3-1. Distribution of G.I. and Framework of Country Data/Report	⊙			(○)	(○)	(○)	(○)	
		4-1. Identifying and assigning an adequate number of its appropriate staff			⊙					
	4. Bill of Estimate	4-2. Identifying and proposing to JICA and WBI additional non-GOG resource and support persons			⊙					
		4-3. Taking budgetary measures to cover the cost of conducting the Seminar			⊙					
		4-4. Submission of Bill of Estimate			⊙	○		○		
		4-5. Transfer of partial seminar funds to the World Bank Ghana office				⊙				
	4-6. Remittance of Expenses based on the Bill of Estimate						⊙			

Month	Job (Due Date)	Task	The Government of Ghana (GOG)			The World Bank		JICA	
			GOG/ MOFA	GOG/ MOH	GOG/ MOH/ HRDD	WBI	Ghana Office	Head- quarters	Ghana Office
November, 1999	5. Nomination by the invited countries (15th November)	5-1. Receiving application forms and forwarding them to GOG/MOH	⊙						
	6. Selection of participants	6-1. Participating in the selection process			⊙	⊙			⊙
	7. Finalization of participants	7-1. Finalization of participants			⊙	⊙			⊙
December	8. Notification of participations (8th December)	8-1. Notification of participations with request for additional country information and examples of CHF 8-2. Supporting the Seminar's information for the participants	⊙						⊙
	9. Receipt and collection (15th December)	9-1. Receipt and collection of additional country information and examples of CHF			⊙	⊙			⊙

Month	Job (Due Date)	Task	The Government of Ghana (GOG)				The World Bank		JICA	
			GOG/ MOFA	GOG/ MOH	GOG/ MOH/ HRDD	WBI	Ghana Office	Headq- uarters	Ghana Office	
January, 2000	10. Implementation of the Seminar	10-1. Arrangement of accommodations, medical insurance, international air tickets, a field visit in Accra for the international participants			<input checked="" type="radio"/>					
		10-2. Arrangement of travel for the local participants			<input checked="" type="radio"/>					
		10-3. Meeting the international participants at the airport and accompanying them to their hotel			<input checked="" type="radio"/>					
		10-4. Dispatching expert(s)				<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		
		10-5. Conducting evaluation meetings at the beginning and end of the Seminar								
		10-6. Issuing certificates to the participants								
11. Evaluation meeting		11-1. Participating in the evaluation meeting			<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

Month	Job (Due Date)	Task	The Government of Ghana (GOG)				The World Bank		JICA	
			GOG/ MOFA	GOG/ MOH	GOG/ MOH/ HRDD	WBI	Ghana Office	Headq- quarters	Ghana Office	
			February, 2000	12. Submission of statement of expenses (30 days later of the Seminar)	12-1. Submission a statement of expenditures			⊙		
	13. Compiling course report	13-1. Compiling country reports			⊙					

附 属 资 料

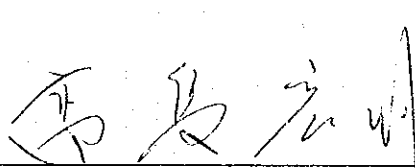


1 協議議事録 (第1次事前調査)

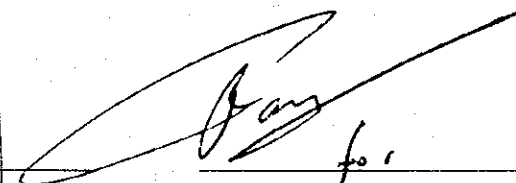
MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM
AND
THE WORLD BANK INSTITUTE
ON A JOINT SEMINAR

1. The Japanese preliminary survey team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hiroaki TAKASHIMA, visited the World Bank Institute (hereinafter referred to as "WBI") from 3rd to 9th March, 1999, in order to discuss a joint seminar for participants from Anglophone countries in Africa in the field of Health Sector Reform (hereinafter referred to as "the Seminar").
2. The Team and WBI held meetings and exchanged opinions regarding the Seminar.
3. Both sides agree that the Seminar will contribute to Health Sector Reform in African Anglophone countries.
4. Both sides discussed alternative frameworks for the Seminar and measures to be taken to ensure its successful preparation and implementation.
5. A number of issues which are shown in APPENDIX I were discussed during the meetings. Based on the discussions, both sides agreed to draw up a joint proposal for the Seminar, which will be submitted to the proposed host country.
6. A list of attendants at the meetings is attached as APPENDIX II.

Washington, 8th March, 1999



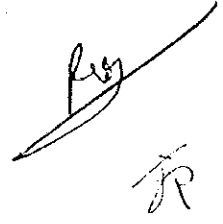
Mr. Hiroaki TAKASHIMA
Leader,
Preliminary Survey Team,
Japan International Cooperation Agency



Ms. Michelle RIBOUD
Division Chief
Human Development Division
World Bank Institute
The World Bank

APPENDIX I

Issues Discussed during the Meetings Concerning the Joint Seminar on Health Sector Reform



The Team and WBI discussed the following issues in the meetings on 6th and 8th March, 1999.

1. Host Country

Both sides agreed that the Government of Ghana is a potential host for the Joint Seminar. Ghana is an appropriate host as it is currently undergoing reform in the health sector, including a key human resources component. After further discussions within the World Bank and JICA, upon confirmation of this agreement JICA and WBI would make official contact with the concerned authorities of the Government of Ghana.

2. Seminar Title

The Seminar will be entitled "Health Sector Reform (HSR) and Health Workforce".

3. Rationale

The Seminar will provide an opportunity for Ghana and other African Anglophone countries to share ideas and experiences in HSR.

4. Specific Objectives

Organize a seminar through which participants will gain increased understanding of the context and processes of health sector reform, of health economics as a framework for decision making regarding reforms, and of the importance of health workforce development in health sector reform.

5. Target Group

The intended target audience includes government officials from the Ministries of Health and Finance and Social Security officials involved in the health policy-making process. As appropriate, a number of district level officials will be invited to participate in the Seminar as observers.

6. Invited Countries (tentative)

Government officials from the following countries will be considered as JICA invitees for the Seminar: Botswana, Ethiopia, Eritrea, Ghana, Kenya, Lesotho, Malawi, Namibia, Senegal, South Africa, Swaziland, Tanzania, Uganda, Zambia and Zimbabwe (fifteen (15) countries).

7. Number of Participants

Ghanaian participants (15-20) will include officials from national and provincial levels. A similar number of participants will be invited from other African Anglophone countries. Representatives of the WBI Health Flagship Program's two Regional Partner

Institutes in the Africa Region will also be invited.

8. Schedule

The duration of the Seminar will be approximately two (2) weeks, to be held between December 1999 and February 2000, depending on progress in the Seminar preparation. In consultation with JICA and Ghanaian officials, the tentative schedule attached as ANNEX I will be revised after further discussion within the WBI Flagship Program team, including Flagship Program technical review discussions due to take place 21 April 1999. Those discussions will include consideration of potential roles in the Seminar of two WBI's Regional Partner Institutes in the African Region.

9. Joint proposal

Both sides agreed to jointly draft a proposal, including curriculum and procedures of Seminar preparation, and to submit it by early May 1999 as a joint proposal for consideration by the Ghanaian side.

10. Resource persons

The host country, JICA and WBI will coordinate their arrangements for resource persons (including trainers, facilitators, case developers and logistical staff) for the Seminar.

11. Evaluation

An evaluation questionnaire to be given to all participants in the seminar will be designed to include at least WBI minimum required items.

12. Seminar Expenses

Subject to approval by WBI and JICA, overall costs of preparing and implementing the Seminar (e.g. invitation and training expenses, publication of proceedings, development of cases and other training materials) will be equally shared by WBI and JICA. WBI will discuss with World Bank officials dealing with Ghana the possible use of funds from the current Bank financed Ghana health sector program to support Ghanaian participation in the Seminar.

13. Cooperation period

Provided that adequate interest and positive responses from the participating countries are obtained, both sides will discuss further seminars on this topic in the future.

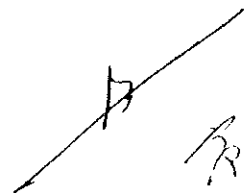
14. Working Group

Ghana, WBI and JICA will establish and constitute a working group of their respective staff members in Accra for the proper implementation of the Seminar

15. Preliminary Meeting by the concerned authorities of the host country, WBI and JICA

Both sides agreed to hold preliminary meetings in the host country, tentatively in June, 1999, in order to discuss the details of the Seminar. A Record of Discussions (R/D)

will be signed by the three parties during that meeting.

Handwritten signature and initials in the top right corner of the page.

16. Invitation for JICA to join the Flagship Donor Advisory Committee

During the meetings, WBI invited JICA to join the Flagship Donor Advisory Committee, which will meet next in February 2000. The Donor Advisory Committee was established by WBI as a partnership with a small number of donors committed to improving health sector reform and sustainable financing, as an essential means of improving collaboration in the design and delivery of training and capacity building in that domain. The group includes representatives of selected bilateral and multilateral agencies and senior officials from WBI and the World Bank's Human Development Department.

List of the Attendants

- Ms. Michelle RIBOUD, Manager, Human Development Division, World Bank Institute
Dr. Eugene BOOSTROM, Senior Public Health Specialist, Human Development Division, World Bank Institute
Mr. Paul SHAW, Principal Human Development Economist, Human Development Division, World Bank Institute
Ms. Keiko OYAMA, Program Coordinator, Office of the Director, World Bank Institute
Dr. Thomas HALL, University of California, San Francisco, and WHO Expert on Human Resources
Mr. Orvill ADAMS, Division of Health Systems, CHS Cluster, World Health Organization, Geneva
- Ms. Anjali PATEL, Program Officer, JICA U.S.A. Office
- Mr. Hiroaki TAKASHIMA, Deputy Director, Planning Division, Planning Department, Japan International Cooperation Agency
Dr. Naruo UEHARA, Professor of International Health, Tohoku University School of Medicine
Ms. Sumiko OGAWA, Assistant Professor, Department of Preventive Medicine, University of the Ryukyus
Ms. Yasuyo KAWAMURA, Training Officer, Third Training Division, Training Affairs Department, Japan International Cooperation Agency

Time schedule for preparation and implementation of the seminar

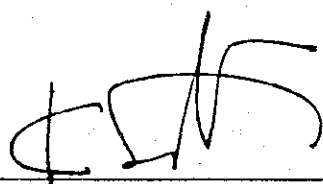
MONTH	HOST COUNTRY SIDE	WBI/JAPANESE SIDES
March 1999		1. Preliminary discussion in Washington regarding the Seminar
April 1999		1. Preparation of Joint Proposal
May 1999	1. Official Approval of the Program	1. Submission of Joint Proposal to Host Country
June 1999 (Tentative)	1. Holding Meetings among three parties 2. Signing the Record of Discussions (R/D)	1. Dispatching Preliminary Survey Mission and Holding Meetings among three parties 2. Signing the Record of Discussions (R/D)
October-November 1999	1. Send participant(s) to Flagship Course in Washington 2. Distribution of General Information (G.I.) and Application Form 3. Submission of Bill of Estimate	1. Implement Flagship Course in Washington, with Ghanaian participant(s) 2. Recruitment of Expert(s) 3. Remittance of Expenses
November 1999	1. Selection, Approval and Invitation/Notification of Participants	1. Participation in Selection and Approval of Participants
December-January 1999-2000	1. Implementation and Evaluation of the Seminar	1. Implementation and Evaluation of the Seminar 2. Dispatch of Expert(s)
February-March 2000	1. Submission of Statements of Expenditures 2. Review of Findings of the Evaluation of the Seminar	1. Review of Findings of the Evaluation of the Seminar

MINUTES OF MEETING
AMONG
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM
AND
THE WORLD BANK INSTITUTE
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF GHANA
ON
A JOINT SEMINAR

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Katsuhiro SASAKI, visited the Republic of Ghana from 6th September, 1999 to 15th September, 1999 in order to discuss with the authorities concerned of the Government of the Republic of Ghana and the World Bank Institute of the World Bank (hereinafter referred to as "WBI") a joint seminar in the field of health sector reform. The team also conducted interviews, held a series of meetings and exchanged opinions with the Ghanaian parties concerned the seminar.

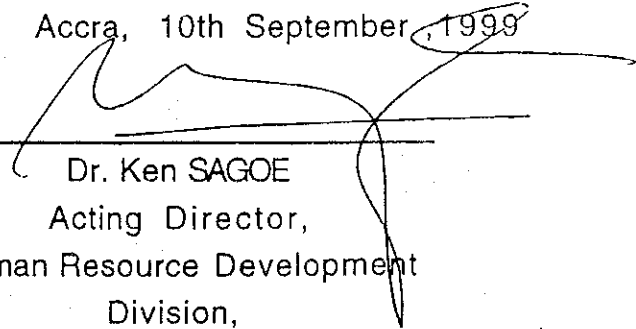
The three parties drafted the Record of Discussions attached herewith as APPENDIX I, and agreed to recommend to their respective Governments Institution that the necessary actions be taken in order to ensure the successful implementation of the seminar.

A list of attendees at the meetings is attached herewith as APPENDIX II.



Mr. Katsuhiro SASAKI
Head of the Japanese
Preliminary Survey Team,
Japan International
Cooperation Agency (JICA)

Accra, 10th September, 1999



Dr. Ken SAGOE
Acting Director,
Human Resource Development
Division,
Ministry of Health,
The Republic of Ghana



Dr. Eugene BOOSTROM
Senior Public Health Specialist,
World Bank Institute,
The World Bank

(DRAFT)
RECORD OF DISCUSSIONS
AMONG
REPRESENTATIVE OF JICA GHANA OFFICE
AND
THE WORLD BANK INSTITUTE
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF GHANA
ON
A JOINT SEMINAR

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Katsuhiro SASAKI, visited the Republic of Ghana from 6th September, 1999 to 15th September, 1999, and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Ghana and the World Bank Institute of the World Bank (hereinafter referred to as "WBI") with respect to the framework of a joint seminar in the field of health sector reform, and to the desirable measures to be taken by the three parties to ensure the successful implementation of the seminar.

Based on the above discussions, the Resident Representative of JICA Ghana Office, the authorities concerned of the Government of Ghana and WBI agreed to recommend to their respective Governments, or authorities concerned, the matters referred to in the documents attached hereto.

Accra, ,1999

Mr. Shiro NABEYA
Resident Representative ,
JICA Ghana Office

Dr. Ken SAGOE
Acting Director,
Human Resource Development
Division,
Ministry of Health,
The Republic of Ghana

Dr. Eugene BOOSTROM
Senior Public Health Specialist,
World Bank Institute,
The World Bank

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") and the Government of the Republic of Ghana (hereinafter referred to as "GOG") and WBI will cooperate with one another in organizing a seminar in the field of health sector reform (hereinafter referred to as "the Seminar").

GOG will conduct the Seminar with WBI and the technical cooperation scheme of GOJ. The Seminar will be conducted in accordance with the following:

1. TITLE

The Seminar will be titled "Health Sector Finance and Community Health Financing in Africa".

2. PURPOSE

The purpose of the Seminar is to provide participants from Anglophone African countries with an opportunity to increase their understanding and share their experiences in health sector reform, with particular emphasis on health sector financing.

3. OBJECTIVES

At the end of the Seminar, the participants are expected to understand and be familiar with:

- 3-1. the concept and context of health sector reform and financing
- 3-2. conceptual framework, criteria, prerequisite conditions and country specific issues to be considered for strengthening health financing, especially community health financing
- 3-3. overall experience and lessons learned in community health financing in Africa
- 3-4. current status and progress of community health financing in countries participating in the seminar
- 3-5. key issues in community health financing in African countries

4. SCHEDULE

The duration of the Seminar will be approximately one (1) week, and it will be held in late January, 2000.

5. PROGRAM

The tentative program of the Seminar is attached as Annex I.

6. INVITED COUNTRIES

The Governments of the following countries will be invited to apply by nominating applicant(s) for the Seminar:

Botswana, Cote d'Ivoire, Ethiopia, Eritrea, Ghana, Kenya, Lesotho, Malawi, Namibia, Nigeria, Senegal, South Africa, Swaziland, Tanzania, Uganda, Zambia and Zimbabwe (17 countries).

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants shall not exceed forty (40) in total, including fifteen (15) Ghanaian participants nominated by GCG.

8. QUALIFICATIONS OF APPLICANTS

8-1. Applicants for the Seminar are:

- 8-1-1. to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure stipulated in 10-1 below;
- 8-1-2. to be presently engaged or expected to be engaged in the near future in the formulation of health sector reform and financing policy and/or the planning and implementation of community health financing
- 8-1-3. to have practical experience of three (3) or more years in the field covered by the Seminar;
- 8-1-4. to have a good command of spoken and written English;

- 8-1-5. not to be serving for the military; and
- 8-1-6. to be in good health, both physically and mentally, in order to attend the whole Seminar.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Seminar will be held either at a conference facility, facility of the University of Ghana or of a nearby hotel suitable for the Seminar.

10. APPLICATION PROCEDURE

10-1. A Government applying for the Seminar on behalf of its nominee(s) shall forward one (1) copy of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Republic of Ghana through diplomatic channels by 15th November, 1999.

10-2. GOG will inform the applying Governments, through diplomatic channels, whether or not their applicant(s) accepted to participate the Seminar by 8th December, 1999.

11. SELECTION PROCEDURE

GOG, WBI and JICA will establish a selection committee. The committee is to be coordinated by the Human Resource Development Division, Ministry of Health of GOG (hereinafter referred to as "GOG/MOH/HRDD"), which will be responsible for the task described in 11-2. The task of the committee is to:

11-1. examine the application forms of candidates for the purpose of selecting appropriate participants with reference to the qualification requirements stated in 8 above.

11-2. inform the Ministry of Foreign Affairs of the Republic of Ghana of the results of the selection.

12. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF GHANA, THE GOVERNMENT OF JAPAN AND WBI

In organizing and implementing the Seminar, the three parties will take the measures outlined below. GOG and GOJ will take these measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in their respective countries. WBI will take the measures agreed by the three parties in accordance with rules and regulations of WBI.

12-1. GOG

12-1-1. Ministry of Foreign Affairs

- (1) To forward the General Information brochure (G.I.) of the Seminar to the Governments of invited countries, through its diplomatic channels
- (2) To receive application forms and to forward them to the Ministry of Health (hereinafter referred to as "GOG/MOH")
- (3) To notify the respective Governments of the results of the selection of participants nominated through the procedure described in 11-1 and 11-2, through its diplomatic channels
- (4) To participate in the selection process as described in 11-1 and 11-2

12-1-2. GOG/MOH

- (1) To formulate the Seminar program based on ANNEX I in collaboration with the Japanese side and WBI
- (2) To draft and print the G.I.
- (3) To identify and assign an adequate number of its appropriate staff as resource and support persons for the Seminar

- (4) To identify and propose to JICA and WBI additional non-GOG resource and support persons for the Seminar
- (5) To coordinate the selection committee and selection process as described in 11-1 and 11-2
- (6) To arrange accommodations and medical insurance for the applicants, in agreement with JICA and WBI
- (7) To arrange international air tickets (through the World Bank Ghana Office, for World Bank funded participants) for the international participants and to meet them at the airport and accompany them to their hotel
- (8) To facilitate travel arrangements for local participants to and from Accra
- (9) To arrange the domestic field trip as a part of the Seminar, and any other local group travel necessary during the Seminar
- (10) To take budgetary measures to cover the cost of conducting the Seminar, including partial financing of Ghanaian participants and other expenses not financed or only partially financed by the Government of Japan and WBI
- (11) To issue certificates to those participants who have successfully completed the Seminar, in agreement with JICA and WBI
- (12) To conduct evaluation sessions at the beginning and end of the Seminar, in agreement with JICA and WBI
- (13) To submit a statement of expenditures with the receipts and other documentation to verify the stated expenditures, to JICA Ghana Office and the WB Ghana Office within thirty (30) days of the close of the Seminar
- (14) To participate in the evaluation meeting, immediately following the Seminar

(15) To compile country reports, teaching materials and a record of discussions from the Seminar in collaboration with GOJ and WBI

(16) To coordinate any matters related to the Seminar

12-2. GOJ

- (1) To formulate the Seminar program based on ANNEX I in collaboration with GOG/MOH and WBI
- (2) To dispatch Japanese short term expert(s), as resource persons in the Seminar, in accordance with the normal procedures of its technical cooperation scheme. This, however, is subject to Japan's budget available for this purpose and to the number of suitable expert(s) in Japan. GOG/MOH is expected to pre-inform Japan of any requests for Japanese short term expert(s) no later than three(3) months before the expected dispatch of expert(s)
- (3) To participate in the selection process as stated in 11-1 and 11-2
- (4) To participate in the evaluation meeting, immediately following the Seminar
- (5) To bear Seminar expenses including the invitation and participation expenses of qualified candidates nominated by their Governments and other seminar expenses as detailed in ANNEX III through JICA

12-3. WBI

- (1) To formulate the Seminar program based on ANNEX I in collaboration with GOG/MOH and JICA
- (2) To dispatch expert(s) who will deliver some part of the presentations. This, however, is subject to the budget available to WBI for this purpose and the number of suitable expert(s)

- (3) To participate in the selection process described in 11-1 and 11-2
- (4) To participate in the evaluation meeting, immediately following the Seminar
- (5) To bear Seminar expenses including (through WBI and country programme funds) the invitation and participation expenses of qualified candidates nominated by the World Bank and of Government-nominated participants to be financed by World Bank funds and other seminar expenses as detailed in ANNEX III

13. PROCEDURE FOR REMITTANCE AND EXPENDITURE

Remittance of funds for expenses is to be made by GOG/MOH, GOJ and WBI, and the expenditure thereof will be arranged in accordance with the following procedures:

- 13-1. GOG/MOH/HRD will open a bank account in Ghana to receive funds remitted by GOG/MOH and GOJ, and inform JICA Ghana Office and WBI of the name of the bank, the account code number and the name of account holder.
- 13-2. For seminar-related expenses to be borne by WBI, GOG/MOH will submit proposals and invoices to WBI and the WB Ghana Office for payment after approval (either directly or by delegation to the WB Ghana Office) by WBI
- 13-3. GOG/MOH/HRDD will submit to both JICA Ghana Office and WBI a bill of estimate for the expenses to be borne by GOJ and WBI, not later than sixty (60) days before the commencement of the Seminar.
- 13-4. JICA and WBI will assess and approve the bill of estimate and remit the approved amounts of expenses to the account mentioned in 13-1. above (in the case of JICA) and to an account managed by the WB Ghana Office in Accra (in the case of WBI) within thirty (30) days after receipt of the bill of estimate.

13-5. GOG/MOH/HRDD will submit a statement of expenditures to the JICA Ghana Office and WBI within thirty (30) days of the close of the Seminar.

13-6. In accordance with the guidelines set out by the cosponsors (JICA and WBI), any unspent portion remaining from those funds remitted by JICA Ghana Office and WBI should be reimbursed to them. Under no circumstances should funds allocated for the flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums be appropriated for any other purposes.

13-7. When requested by JICA or WBI, GOG/MOH/HRDD will make available for their review all the receipts and other documentation to verify the stated expenditures in 13-5 above.

14. OTHERS

The Annexes I, II and III listed below attached hereto, shall be deemed to be part of this agreement:

ANNEX I: Tentative Seminar Schedule

ANNEX II: Schedule of Seminar Implementation

ANNEX III: Budget to be shared by GOG/MOH, GOJ and WBI

5

EB

TENTATIVE SEMINAR SCHEDULE

	Day	AM	PM
0	Sun.	Arrival	
1	Mon.	Registration Opening Session Pre-Evaluation Session	Health Sector Finance (I)
2	Tues.	Health Sector Finance (II)	Health Sector Finance (III)
3	Wed.	Health Sector Finance (IV)	Health Sector Finance (V)
4	Thurs.	Community Health Financing (I)	Community Health Financing (II)
5	Fri.	Community Health Financing (III)	Community Health Financing (IV) Field Visit
6	Sat.	Community Health Financing (V)	Community Health Financing (VI) Post-Evaluation Session Closing Session
7	Sun.	Departure	

TENTATIVE SCHEDULE FOR THE SEMINAR IMPLEMENTATION

	Ghana	WBI	JICA
October, 1999	Signing of R/D	Signing of R/D	Signing of R/D
	Drafting of G.I.	Drafting, with JICA and MOH input, the framework of country information on country examples of CHF, for distribution with the G.I.	
	Finalizing draft of G.I.	Finalizing draft of G.I.	Finalizing draft of G.I.
	Printing G.I.	Development of Framework of Country Data / Report	
	10/20: Distribution of G.I. and Framework of Country Data / Report		
	Submission of Bill of Estimate	Transfer of partial seminar funds to the World Bank Ghana office	Remittance of Expenses based on the Bill of Estimate
November	11/15: Nomination by the invited countries		
	Selection of participants		
	Finalization of Selection of participants	Finalization of Selection of participants	Finalization of Selection of participants
December	12/08: Notification of participants, including invitation letter and request for additional country information on examples of CHF		(Dispatching Experts)
	12/15: Receipt and collection by MOH of additional country information on examples of CHF		
January, 2000	Implementation of the Seminar	Dispatch of resource person(s)	Dispatch of resource person(s)
	Evaluation meeting	Evaluation meeting	Evaluation meeting
	(proposed) one-day post-seminar session, only for selected Ghanaian participants		
February	Submission of statement of expenses		
	Compiling course report		

CS

TENTATIVE BUDGET TO BE SHARED BY GOG, WBI AND GOJ

ITEMS	BREAKDOWN(S)	GOG	WBI	GOJ	TOTAL
I. INVITATION AND PARTICIPATION EXPENSES OF PARTICIPANTS					
1. Air Fares (Round Trip)	@ x pers. (WBI: pers., Japan pers.)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2. Transportation	@ x pers.x trip (WBI: pers., Japan pers.)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3. Per Diem	@ x daysx pers. (WBI: pers., Japan pers.)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
4. Accommodation	@ x nightsx pers. (WBI: pers., Japan pers.)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
5. Medical Insurance	@ x pers. (WBI: pers., Japan pers.)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
6. Others					
SUBTOTAL-I.					
II. TRAINING EXPENSES					
1. Honoraria for External Lectures	@ x hoursx pers.		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
2. Employment Fees	@ x hoursx pers.		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3. Transportation	Field trip		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Transport for Ghana Personnel	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
4. Expendable Supplies			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
5. Meeting Expenses	@ x pers.x 2times (Opening and Closing ceremonies)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
6. Printing	G.I.: @ x copies		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Certificate: @ x sheets		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	Course report: @ x copies		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
7. Course book	@ x copies		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
8. Communication Expenses	communication (telephone, fax, mailing, etc.)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
9. Others	Miscellaneous				
SUBTOTAL-II.					
GRANDTOTAL					

○ indicates the items for which costs are to be borne by GOG, WBI and GOJ.

THE LIST OF ATTENDEES AT THE MEETINGS

The Government of the Republic of Ghana

Dr. Awudu TINORGAH
Director of Medical Services, Ministry of Health

Dr. Ken SAGOE
Acting Director of Human Resource Development Division, Ministry of Health

Dr. Delanyo DOVLO
Secondment from Ministry of Health to Noguchi Memorial Insititue

Mr. Seth D. ACQUAH
Fellowship Manager, Human Resource Development Division, Ministry of Health

WBI

Dr. Eugene BOOSTROM
Senior Public Health Specialist, World Bank Institute

Ms. Evelyn Esi AWITTOR
Field Officer, The World Bank Ghana Resident Mission

JICA

Mr. Katsuhiro SASAKI
Director, Africa Division, Regional Department, JICA

Dr. Naruo UEHARA
Professor of International Health, Tohoku University School of Medicine

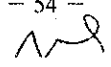
Ms. Sumiko OGAWA
Assistant Professor, Department of Preventive Medicine, Faculty of Medicine,
University of the Ryukyus

Mr. Nobuyuki GOTO
Staff, Africa Division, Regional Department, JICA

Mr. Shunichiro HONDA
Project Formulation Advisor, JICA Ghana

Mr. Matthew DALLY
Programme Officer, JICA Ghana

KS



21

2 第1次事前調査

・調査団構成

団長／総括 保健医療制度	高島 宏明 上原 嶋夫	国際協力事業団企画部企画課課長代理 東北大学大学院医学系研究科社会医学講座国際保健学 分野教授
研修計画	小川 寿美子 川村 康予	琉球大学医学部医学科保健医学講座助手 国際協力事業団研修事業部研修第三課

・調査日程

1999年3月3日から10日（8日間）

月日	曜日	時間	行程	宿泊地
3/3	水	10:45 8:55 12:00	成田発（NH002便） ワシントン着 JICAアメリカ事務所打ち合わせ Human Development Week Conferenceに参加	ワシントン
3/4	木	8:30-	Human Development Week Conferenceに参加	↓
3/5	金	8:30-	Human Development Week Conferenceに参加	↓
3/6	土	9:30-	EDIと協議	↓
3/7	日		団内打ち合わせ	↓
3/8	月	8:30- 17:00	EDIと協議 JICAアメリカ事務所報告	↓
3/9	火	10:45	ワシントン発（NH001便）	機中
3/10	水	14:30	成田着	

1-4 主要面談者

Ms. Michelle RIBOUD, Manager, Human Development Division, World Bank Institute (WBI)

Dr. Eugen BOOSTROM, Public Health Specialist, WBI

Mr. Paul SHAW, Principle Human Resources Economist, Human Development Division, WBI

Ms. Keiko OYAMA

Mr. Tom HALL, Professor, University of California, San Francisco

Mr. Orvill ADAMS, WHO Geneva

JICAワシントン事務所

田口 徹 所長

柏谷 亮 次長

丹原 一広 所員

Anjali PATEL, Program Officer

3 第2次事前調査

調査団構成

氏名	分野構成	所属先機関
佐々木 克宏	団長／総括	国際協力事業団地域部準備室 アフリカグループ長
上原 鳴夫	保健医療制度改革	東北大学大学院医学系医学研究科 社会医学講座国際保健学分野 教授
小川 寿美子	地域保健財政	琉球大学医学部保健医学講座 助手
後藤 信行	研修計画	地域部準備室アフリカグループ配属 ジュニア専門員

日程

日程	曜	行程	
9/5	日	佐々木団長／後藤団員	
		成田発 チューリッヒ着	
9/6	月	チューリッヒ着 アクラ着	上原団員／小川団員
			成田発 チューリッヒ着
9/7	火	JICA 事務所打合せ 個別派遣専門家打合せ 石井専門家（中央統計局） 八木専門家（ガーナ大学農学部） 野口記念研究所関係者と打合せ WBI 担当者と打合せ	チューリッヒ着 アクラ着
9/8	水	JICA 事務所打合せ／WBI 関係者との打合せ 日本大使館表敬／対処方針説明 三者協議（ガーナ保健省、WBI、調査団）：合同議事録(Minute 案作成) (於：保健省)	
9/9	木	三者協議：実施時期、役割分担、研修内容協議。(於：保健省)	
9/10	金	三者協議：Minute 最終案協議（於：保健省） Minute 署名交換	
9/11	土	団内打合せ 資料整理	
9/12	日	Field Trip 訪問候補地(Dodowa)訪問	
日程	曜	行程	

9/13	月	JICA 事務所報告 日本大使館報告 ガーナ大蔵省へ報告 (団長)			
		佐々木団長	後藤団員	上原団員	小川団員
		アクラ発 (陸路) クマシ着	保健省と詳細プログラム ム打合せ	アクラ発	アクラ発
9/14	火	チーム派遣「谷地田総 合開発」サイト訪問		ロンドン着 ロンドン発	チューリッ ヒ着 ブラッセル 経由
9/15	水	JICA 事務所報告 アクラ発		成田着	成田着
9/16	木	ロンドン着 JICA 英国事務所報告 ロンドン発			
9/17	金	成田着			

・面談者

ガーナ保健省

Dr. A.Tingnorgah

Director, Medical Service, Ministry of Health

Dr. K. Sagoe

Acting Director, Human Resource Development Division

Dr. D.Dolvo

Secondment from Ministry of Health to Noguchi
Memorial Institute

Mr. S.D.Aquah

Fellowship manager, Human Resource Development Division

ガーナ大蔵省

Mrs. A.M.Batsa

Head, Bilateral Economic Relation Unit, ministry of Finance

世界銀行

Dr. E. Boostrom

Senior Public Specialist, Human Development Group,
World Bank Institute(WBI)

Ms. M.B.Sekyere

Manager for Administration, Resident Mission, World bank

Ms. E. E. Awittor

Filed Officer, Health, Nutrition and Population/Poverty,
Resident Mission, World Bank

母子保健医療サービス向上計画プロジェクト

秋葉 敏夫

リーダー

相賀 裕嗣

専門家 (人材開発)

吉岡 弘隆

業務調整員

野口記念医学研究所感染症対策プロジェクト

石田 リーダー代行
岩田 英二 業務調整員

日本国大使館

伊藤 庄亮 特命全権大使
鈴木 栄一 参事官
田中 一成 一等書記官
谷野 公士 医務官

JICA ガーナ事務所

鍋谷 史朗 所長
宮川 文男 次長
三條 明仁 所員
本田俊一郎 企画調査員

JICA 英国事務所

神谷 弘司 所長
佐藤 朋子 所員

4 調査団収集資料リスト

- HEALTH SECTOR 5 YEAR PROGRAMME OF WORK (1997-2001) 1998 REVIEW , April 1999
- The Road to a Healthier Future for Ghana, Ghana Ministry of Health, April 1997
- Joint Ministry of Health - Health Partners Summit Meeting (May 5-7, 1999) Review of the 1998 Programme of Work Aide Memoire, 7 May 1999
- GHANA HEALTH SECTOR, 1999 PROGRAMME OF WORK AND BUDGET, MINISTRY OF HEALTH, September 1998
- 1998年度保健セクター年間実施計画年次レビュー概要、JICAガーナ事務所企画調査員、平成11年5月

- NOGUCHI MEMORIAL INSTITUTE FOR MEDICAL RESEARCH (NMIMR), UNIVERSITY OF GHANA, GENERAL INFORMATION ON TRAINING COURSE IN "LABORATORY DIAGNOSIS OF YELLOW FEVER AND OTHER EPI VIRAL DISEASES (POLIO AND MEASLES)", FEBRUARY 15 - MARCH 5, 1999

- 「アフリカにおける野口英世博士」、大立目信六
- 日本の海外医療協力35・ガーナ、星島啓一郎
- 「野口英世博士の死因について」、加藤四郎
- JICAの活動内容について・II野口研におけるHIV研究、井上栄・石川晃一
- NOGUCHI MEMORIAL INSTITUTE FOR MEDICAL RESEARCH [NMIMR] 1990

- 1999 FLAGSHIP COURSE: HEALTH SECTOR REFORM AND SUSTAINABLE FINANCING, WORLD BANK INSTITUTE (WBI)
- Financing Health Care in Sub-Saharan Africa through User Fees and Insurance, 1995, The World Bank

- A PROPOSAL TO FACILITATE A DISTRICT HEALTH INSURANCE SCHEME AND ESTABLISH A DISTRICT HEALTH MAINTENANCE ASSOCIATION
- COMMUNITY-BASED DEVELOPMENT PROGRAMME, UNICEF
- MANAGEMENT ARRANGEMENTS FOR IMPLEMENTATION OF THE MEDIUM TERM PROGRAMME OF WORK (1997-2001), Ministry of Health, Accra, Ghana, December 1996
- Health Sector 5 Year Programme of Work, Ministry of Health, Accra, Ghana, August 1996
- GHANA COMMON COUNTRY ASSESSMENT, UN, March 1997

JICA